



2023年12月14日

各位

会社名 株式会社テラ・ウェスタン・セラヒ° テクス研究所  
代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
(コード番号:4576)  
問合せ先 取締役 松原 さや子  
TEL 052-218-8785

### 業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月13日に公表した業績予想を修正いたしました。また、2023年12月期において、特別損失を計上することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想発表 (A)	400	△1,400	△1,410	△1,390	△44.60
今回修正予想 (B)	410	△850	△850	△870	△27.08
増減額 (B - A)	10	550	560	520	
増減率 (%)	2.5	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	448	△305	△295	△429	△14.50

#### 2. 2023年12月期通期個別業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想発表 (A)	400	△1,330	△1,330	△42.67
今回修正予想 (B)	410	△780	△900	△28.01
増減額 (B - A)	10	550	430	
増減率 (%)	2.5	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	411	△241	△386	△13.05

### 3. 修正の理由

売上高につきましては、眼科手術補助剤「DW-1002」の欧州・米国等のロイヤリティ収入が好調であることによる増加です。

一方、費用につきましては、研究開発費の総額が、期初予想 1,500 百万円から 500 百万円程度の減少を見込んでいることにより当初予想に対して大幅に縮小する見込みです。

なお、研究開発費の主な減少要因は、緑内障治療剤「H-1337」の米国後期第Ⅱ相臨床試験の開始が当初計画から半年程度遅れたこと及び神経疼痛治療薬「DW-5LBT」の承認取得が年内に見込めないことにより支払マイルストーンが発生しないためです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益及び当期純利益については、下記 4. 5. のとおり特別損失を計上しておりますが、費用の縮小が大きいことから、当期業績予想を上方修正いたします。

### 4. 連結決算における特別損失（投資有価証券評価損、貸倒引当金繰入額、固定資産の減損損失）

#### ① 投資有価証券評価損、貸倒引当金繰入額

当社の出資先である投資有価証券の一部について、財政状態や今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、減損処理による投資有価証券評価損 12,992 千円及び貸倒引当金繰入額 11,772 千円を計上することといたしました。

#### ② 固定資産の減損損失

当社の連結子会社である日本革新創薬株式会社の保有する固定資産について、同社の今後の業績見通しを勘案し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき評価した結果、減損損失 6,146 千円を計上することといたしました。

### 5. 個別決算における特別損失（関係会社株式評価損）

上記 4. ①に加えて、当社の連結子会社である日本革新創薬株式会社の株式について、同社の今後の業績見通しを勘案し、「金融商品に関する会計基準」に基づき評価した結果、関係会社株式評価損 99,278 千円を計上することといたしました。

なお、個別決算で計上されるこの特別損失は連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上